

# 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 稲葉カヨ

### 2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

### 3 電話番号

075-212-7490

### 4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/> (京都市男女共同参画センター)

### 5 設立年月日

平成5年5月24日

### 6 基本財産

50,000千円(うち本市出せん額 50,000千円, 出せん率 100.0%)

### 7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため、市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し、男女が個人として尊重され、その能力が発揮できる、男女共同参画の理念の息づく都市、京都の実現に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前項の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進担当 (TEL075-222-3091)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

稲葉カヨ

#### (2) 専務理事

指宿達也

#### (3) 理事

今井まゆり, 加藤千恵, 川口直也, 小山哲史, 佐野恭子, 清水智子, 手嶋昭子, 福田真子, 山舗恵子, 佐原啓也 (京都市文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進課長)

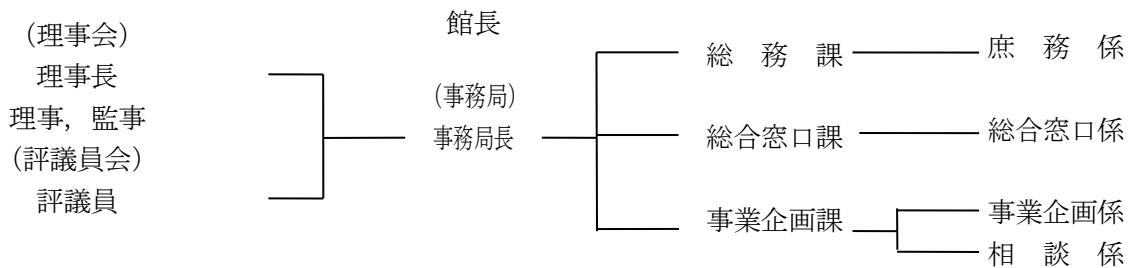
#### (4) 監事

寺西章郎, 前岡照紀, 山村敏雄 (京都市文化市民局共生社会推進室長)

### 11 常勤職員数

12人(うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成30年度決算

(1) 事業報告

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 情報発信事業

- a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、Twitter、Facebook等）
- b 啓発誌・講座案内の発行
- c ジェンダーハンドブック

イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

(ア) 調査研究

データブック作成

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

- a ジェンダー・カフェ 多様な生き方について考えてみよう！
- b はじめてパパの育児講座
- c 働くママを応援！育休ママの「安心」情報交換会

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

- a みんなで考える男女共同参画講座
- b 未来のリケジョを応援するサイエンスショー
- c 大学生と語ろう「性的同意」
- d 国際女性デー記念イベント
- e ギャラリーを使用したパネル展

(ウ) 教養・健康増進事業

運動実技講座・うた講座・その他教養講座

(エ) 保育事業

事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場

エ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

女性のための相談・男性のための相談

(イ) 相談事業

- a DV被害当事者のための自立支援事業
- b 大学相談室派遣事業

(ウ) 関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付

オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進

(ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業

- a 京都市男女共同参画市民会議（ウィングス・フォーラム）

- b センター利用者や地域との協働事業
- c ピンクリボン活動啓発事業
- d 中京区民ふれあい人権講演会
- (イ) DV・性暴力対策事業
  - a DV・性暴力被害者支援事業
  - b DV 予防講座
  - c パープルリボンの取り組み他
- (ウ) 京都府ドメスティック・バイオレンス対策事業  
DV 防止啓発講座
- (エ) 人材・団体育成事業
  - a 市民活動サポート事業
  - b 女性の防災リーダー育成事業
  - c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
  - d 相談員養成講座
- (オ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外に対する施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理, 組織・人事管理, 財務運営

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成31年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	128,059	115,275	12,784
未収入金	394	2,711	△2,317
前払金	146	36	109
立替金	422	370	52
流動資産合計	[129,021]	[118,393]	[10,629]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,000	20,000	0
投資有価証券	30,000	30,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	54,622	54,622	0
特定費用準備資金	10,973	9,680	1,294
特定資産取得資金	7,953	8,458	△505
特定資産合計	(73,549)	(72,760)	(789)
(その他固定資産)			
建物附属設備	1,661	1,929	△268
什器備品	624	910	△286
ソフトウェア	4,567	673	3,894
電話加入権	1,580	1,580	0
出資金	10	10	0
保証金	5	5	0
その他固定資産合計	(8,448)	(5,107)	(3,340)
固定資産合計	[131,996]	[127,867]	[4,129]
資産合計	261,018	246,260	14,758
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	27,529	19,050	8,480
預り金	1,292	2,027	△734
前受金	11,747	11,608	140
賞与引当金	4,660	4,683	△23
流動負債合計	[45,229]	[37,367]	[7,862]
2. 固定負債			
退職給付引当金	65,833	63,721	2,112
固定負債合計	[65,833]	[63,721]	[2,112]
負債合計	111,062	101,088	9,974
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[50,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[99,955]	[95,172]	[4,783]
(うち特定資産への充当額)	(14,282)	(18,138)	(△3,855)
正味財産合計	149,955	145,172	4,783
負債及び正味財産合計	261,018	246,260	14,758

## 正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	249	245	5
事業収益	217,955	217,344	611
受取寄付金	25	35	△10
雑収益	2,254	2,460	△206
経常収益計	220,484	220,083	400
(2) 経常費用			
事業費	207,467	205,734	1,733
管理費	5,278	4,397	880
経常費用計	212,745	210,131	2,614
当期経常増減額	7,739	9,952	△2,213
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	2,955	1,882	1,074
当期一般正味財産増減額	4,783	8,070	△3,287
一般正味財産期首残高	95,172	87,101	8,070
一般正味財産期末残高	99,955	95,172	4,783
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	149,955	145,172	4,783

## 2 令和元年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 情報発信事業

- a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、Twitter、Facebook等）
- b 啓発誌・講座案内の発行

イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

データブックの作成

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

- a ジェンダー・カフェ 多様な生き方について考えてみよう！
- b はじめてのパパの育児講座
- c 働くママを応援！育休ママの「安心」情報交換会

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

- a みんなで考える男女共同参画講座
- b 理系女子応援セミナー
- c 大学生と語ろう「性的同意」

(ウ) 教養・健康増進事業

運動実技講座・うた講座・その他教養講座

(エ) 保育事業

事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場

エ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

一般相談・専門相談

(イ) 相談事業

- a DV被害当事者のための自立支援事業
- b 大学相談室派遣事業

(ウ) 関係機関連携／京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付

オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進

(ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業

- a 京都市男女共同参画市民会議（ウィングス・フォーラム）
- b センター利用者や地域との協働事業
- c ピンクリボン活動啓発事業

(イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業

- a DV・性暴力被害者支援講座
- b DV予防講座
- c パープルリボンの取組他

(ウ) 人材・団体育成事業

- a 市民活動サポート事業
- b 女性の防災リーダー育成事業
- c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
- d 相談員養成講座

(エ) 目的利用団体に対する施設管理業務

カ 目的利用団体以外に対する施設管理業務

キ 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	250	250	0
事業収益	212,940	213,320	△380
雑収益	2,300	2,300	0
経常収益計	215,490	215,870	△380
(2) 経常費用			
事業費	209,988	209,631	357
管理費	5,464	5,939	△475
経常費用計	215,452	215,570	△118
当期経常増減額	38	300	△262
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	38	300	△262
一般正味財産期首残高	99,172	59,641	39,531
一般正味財産期末残高	99,210	59,941	39,269
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	149,210	109,941	39,269

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	216,291	220,083	220,484	215,490
	当期経常増減額	3,231	9,952	7,739	38
	当期正味財産増減額	1,970	8,070	4,783	38
貸借対照表	総資産	229,668	246,260	261,018	/
	総負債	92,567	101,088	111,062	
	正味財産	137,101	145,172	149,955	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
委託料	男女共同参画センターの管理運営 (指定管理)	180,000	180,000	180,713	106,720 (※)
	男性のためのDV電話相談及びDV予防講座事業	960	960	960	
	DV被害者支援インストラクター及びサポーター活用事業	100	100		
	「京で輝く！女性活躍推進プロジェクト」	1,882	2,000		
	市民を対象とした図書譲渡会		222		
	写真展 PROJECT STAND 性暴力サバイバー達の素顔		378		

(※) 令和元年度より利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費節減及び受託事業の確保等に努めた結果、平成29年度に引続き黒字を確保したことは評価できる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書情報室を拠点とした情報提供や啓発事業の実施、市民活動の支援等、安定した事業の実施に加え、市図書館や市内の大学生との連携による新たな事業ができている点は評価できる。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業の充実、本市以外からの受託事業の確保等の財源多角化の取組に加え、積極的な経費節減により、3期連続で当期正味財産増減額の黒字を確保した。</li> <li>引き続き経営改善に取り組み、黒字経営を維持してほしい。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の普及・啓発のため、大学生や高校・大学等の他団体と連携した事業を実施するなど積極的に活動していることは評価できる。</li> </ul>